

## 小児看護学演習

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 高橋 亮 教授		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	3	区分・時間数	演習 22.5 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

子どもの成長発達と健康生活を促進するために必要な知識や看護援助技術を習得する。また、健康障害をもつ子どもに必要な看護援助について理解し、基本的な小児看護技術を習得する。具体的には、小児のフィジカルアセスメントや治療・検査の援助、小児の主要な症状に合わせた看護援助方法、救急処置が必要な小児の看護援助方法を学ぶ。さらに、健康障害をもつ小児の代表的な事例を取り上げ、小児の特徴および発達段階をとらえた健康障害の理解と、看護過程の展開方法について学ぶ。

### ・教育成果（アウトカム）

健康障害をもつ子どもとその家族に対して必要な看護援助の内容や適切な看護を行うための基礎的知識を学ぶことで、実際に入院している子どもとその家族に提供する看護についてイメージができ、臨地で行動することができるようになる。  
また、プレゼンテーションを実施する機会を設け、発信する力が強化される。

#### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 3, 4, 5, 6

### ・到達目標（SBO）

1. 健康障害に伴う治療が必要な子どもとその家族に対する看護師の役割について述べることができる
2. 子どもの成長・発達を考慮した援助を行うために必要な関わり方を考えることができる
3. 健康障害をもつ子どもとその家族に対する看護を発展的に考えることができる

・ 授業日程

(矢) マルチメディア教室、 (矢) マルチ 3-A 実習室 (矢) マルチ 4-A 講義室

【演習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/7	木	1	成育看護学講座	高橋 亮 教授	1.科目オリエンテーション 2.事例による看護過程の展開① ・アセスメントの視点と方法について理解できる 【事前学修】 小児の急性期・慢性期に呈する症状を復習する(60分) 【事後学修】 急性期・慢性期のアセスメントの視点についてまとめる(60分)
4/7	木	2	成育看護学講座	高橋 亮 教授	事例による看護過程の展開② ・アセスメントの視点と方法について理解できる 【事前学修】 小児の急性期・慢性期に呈する症状を復習する(60分) 【事後学修】 急性期・慢性期のアセスメントの視点についてまとめる(60分)
4/13	水	2	成育看護学講座	高橋 亮 教授	事例による看護過程の展開③ ・看護問題を立案することができる ・討議において自分の考えを伝えることができる 【事前学修】 急性期・慢性期にある小児に必要な看護について復習する(60分) 【事後学修】 看護問題に合わせた看護計画の骨子を考える(60分)

4/13	水	3	成育看護学講座	高橋 亮 教授	<p>事例による看護過程の展開④</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護問題を立案することができる</li> <li>・討議において自分の考えを伝えることができる</li> </ul> <p>【事前学修】 急性期・慢性期にある小児に必要な看護について復習する(60分)</p> <p>【事後学修】 看護問題に合わせた看護計画の骨子を考える(60分)</p>
4/19	火	3	成育看護学講座	高橋 亮 教授	<p>事例による看護過程の展開⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションを実施し、自分の考えを伝えることができる</li> <li>・発表を通して看護過程の展開を共有し必要な看護について理解を深めることができる</li> </ul> <p>【事前学修】 看護過程の一連流れを復習する(60分)</p> <p>【事後学修】 各自が発表した内容と修正点についてまとめる(60分)</p>
4/28	木	1	成育看護学講座	最上 玲子 講師	<p>子どもと家族の療養環境の調整①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと家族の療養環境について理解できる</li> <li>・子どもと家族の療養環境の特徴について考えを述べるができる</li> <li>・子どもの療養環境を整える重要性を理解できる</li> <li>・子どもの抱っこを安全に実践できる</li> </ul> <p>【事前学修】 小児看護方法論「小児の療養生活における安全および感染予防」講義時の配布資料を熟読する(60分)</p> <p>【事後学修】 子どもの療養環境の特徴についてまとめる(60分)</p>

4/28	木	2	成育看護学講座	最上 玲子 講師	<p>子どもと家族の療養環境の調整②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと家族の療養環境について理解できる</li> <li>・子どもと家族の療養環境の特徴について考えを述べることができる</li> <li>・子どもの療養環境を整える重要性を理解できる</li> <li>・子どもの抱っこを安全に実践できる</li> </ul> <p>【事前学修】 小児看護方法論「小児の療養生活における安全および感染予防」講義時の配布資料を熟読する(60分)</p> <p>【事後学修】 子どもの療養環境の特徴についてまとめる(60分)</p>
6/7	火	1	成育看護学講座	高橋 亮 教授 最上 玲子 講師	<p>子どもの身体測定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの身体測定(身長・体重・頭囲・胸囲・腹囲・大泉門)の方法を理解できる</li> <li>・安全に身体測定を実践できる</li> </ul> <p>【事前学修】 子どもの身体測定の方法と用いられる物品について調べる(60分)</p> <p>【事後学修】 安全に身体測定を実践するためのポイントをまとめる(60分)</p>
6/7	火	2	成育看護学講座	高橋 亮 教授 最上 玲子 講師	<p>子どものバイタルサイン測定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達段階ごとの脈拍、呼吸、血圧、体温の測定方法を理解できる</li> <li>・子どものバイタルサイン測定を安全に実践できる</li> </ul> <p>【事前学修】 乳児・幼児・学童のバイタルサインの基準値と測定時の注意点を調べる(60分)</p> <p>【事後学修】 発達段階に応じたバイタルサインの測定方法と測定時に看護師に求められる役割について考える(60分)</p>

6/30	木	1	成育看護学講座	最上 玲子 講師	<p>成長・発達の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・形態的・機能的発達の評価について理解できる</li> <li>・心理社会的発達の評価について理解できる</li> <li>・発育・発達の評価について理解できる</li> </ul> <p>【事前学修】 「子どもの身体測定」および「子どものバイタルサイン測定」の測定値を把握しておく(60分)</p> <p>【事後学修】 自己の測定値をもとに、成長・発達の評価をまとめる(60分)</p>
6/30	木	2	成育看護学講座	高橋 亮 教授	<p>災害を受けた子どもへの看護</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害を受けた子どもの反応とケアについて理解できる</li> </ul> <p>【事前学修】 子どもが犠牲になった災害について調べる(60分)</p> <p>【事後学修】 災害を受けた子どもに必要なケアをまとめる(60分)</p>
7/5	火	1	成育看護学講座	高橋 亮 教授 最上 玲子 講師	<p>薬物療法を受ける子どもの看護①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもへの与薬(経口薬・坐薬・注射薬)の方法を理解できる</li> </ul> <p>【事前学修】 子どもの薬理作用の特徴および与薬の6Rについて復習する(60分)</p> <p>【事後学修】 子どもへの安全・安楽な経口与薬および家族への支援について考えをまとめる(60分)</p>

7/5	火	2	成育看護学講座	高橋 亮 教授 最上 玲子 講師	<p>薬物療法を受ける子どもの看護②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・点滴静脈内注射時の観察ができる</li> <li>・子どもに必要な注射薬の量を算出できる</li> </ul> <p>【事前学修】 写真でわかる小児看護技術(インターメディカ)の静脈内注射のページを熟読する(60分)</p> <p>【事後学修】 子どもへの安全・安楽な点滴静脈内注射および家族への支援について考えをまとめる(60分)</p>
7/12	火	1	成育看護学講座	高橋 亮 教授	<p>救急処置を必要とする子どもの看護①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・救急処置が必要な子どもへの対応について理解できる</li> <li>・子どもの心肺蘇生を実践できる</li> </ul> <p>【事前学修】 心肺蘇生のアルゴリズムを復習する(60分)</p> <p>【事後学修】 子どもの胸骨圧迫、人工呼吸を行う際のポイントをまとめる(60分)</p>
7/12	火	2	成育看護学講座	高橋 亮 教授 最上 玲子 講師	<p>救急処置を必要とする子どもの看護②</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誤嚥による気道閉塞の解除の方法について理解できる</li> <li>・子どもの気道閉塞の解除を実践できる</li> </ul> <p>【事前学修】 子どもの頭頸部の解剖学的特徴について復習する(60分)</p> <p>【事後学修】 乳児、幼児、学童の口腔内・気道内異物除去法のポイントをまとめる(60分)</p>

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護学テキスト NICE 小児看護学概論 改訂第3版 ～子どもと家族に寄り添う援助～	二宮啓子 今野美紀	南江堂	2017
教	新訂版 写真でわかる小児看護技術 アドバンス	山元恵子	インターメディカ	2020

・成績評価方法

定期試験 70%、提出課題 30%で評価する。

・特記事項・その他

**【事前事後学修の具体的内容及び時間】**

シラバスに記載されている次回の授業内容及び到達目標を確認し、教科書・レジメ等を用いて事前学修（予習または復習）を行うこと。全ての授業に該当するものであり、各授業に対する事前学修時間は最低 60 分を要する。

**【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】**

授業中に課す課題等については、次回の講義で解説する。

**【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】**

看護師（別表 3）：専門分野Ⅱ 小児看護学

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習	小児看護実習モデル“まあちゃん” B型	2	技術修得のため
演習	レサシ・ジュニア A形	1	技術修得のため
演習	バイタルサインシュミレーター サカモトベビータッチ	3	技術修得のため
演習	コーケンベビーLM-026G	15	技術修得のため
演習	小児用サークルベッド	10	技術習得のため
演習	書画カメラ	1	資料提示のため
演習	プロジェクター	1	資料提示のため